

- ◆企画名 KU コアラとはじめる！ブックカバー・ワークショップ  
日 程 2022年10月11日（火）～2022年10月14日（金）  
場 所 ピアエリア  
参加者数 15名（ピア・サポーター：2名、研修生：3名、一般学生：9名、TA：1名）

## 目 的

ブックカバー作りを通して本への親しみを深め、読書活動を推進するほか、参加者に KU コアラの活動を周知し、宣伝する。

## 内 容

- ・自己紹介
- ・KU コアラの紹介
- ・ブックカバー作り  
レジュメを参考にしながら、KU コアラが用意した布を使用して単行本サイズまたは文庫本サイズのブックカバーを作成する（サイズは日程ごとに固定）
- ・参加者アンケート



## 効 果

- ・読書推進につながったか  
自身が作った愛着のある自分だけのブックカバーで本を読むことによって、さらに本への親しみをもつことができたのではないかと感じた。またワークショップ中には、今後どんな本にこのブックカバーを装着して読んでみようかといった話題で盛り上がったため、読書活動を推進するサポートは実現できた。
- ・KU コアラの知名度をあげることができたか  
「この企画を運営している KU コアラをご存じでしたか」との質問に対し、知らなかったと回答した参加者が 3 名いた。知らなかった人に本企画に参加してもらえたことで、KU コアラの認知度を上げることができた。
- ・その他（広報の効果など）  
一般参加者のうち 4 名は、インフォメーションシステムのお知らせから本企画を知ったとのことで、ポスターよりもインフォメーションシステムの方が閲覧されやすいことが分かった。

## 改 善 点

日程によって作成するブックカバーのサイズが固定される形式をとったが、開催中、「別のサイズがよかったけど日程が合わなかった」といった意見が出ていた。そのため、日程ごとではなく、当日に個人が作りたいサイズのブックカバーを制作できるようにしたほうが適切だった。

参加者アンケートの「このイベントは何で知りましたか（複数回答可）」という質問で、「Instagram」を選択した人が 1 名もいなかった。開設まもないアカウントではあるが、知名度を向上させ、コンスタントに企画情報を発信できるようにしていきたい。

## 感 想

布を選んだり、布を切断したりする作業をイメージすることで、参加者にとって最良な下準備を行うことができた。このことによりスムーズな進行ができたため、入念な下準備の大切さとその効果を学ぶことができた。

参加者アンケートの「今回と同様の企画があれば、また参加したいですか」という質問に対しては、「参加したい」に 100%の回答が得られた。全体を通してこのブックカバー・ワークショップの企画は成功であったといえる。